

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	1	農業委員会費	290107	農業委員会総会等運営事業

事務事業名 農業委員会総会等運営事業

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>農業委員会総会の開催 農業委員三役等会議の開催 部会(農地部会 農政部会)の開催 ブロック会議(北 東 西)の開催 農業委員による農地の最適化活動を実施する</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>農業委員</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農業者等から申請があり農業委員会総会に付された事案を審議する。 農業委員会の運営や農業に関する事項を審議する。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>令和5年7月に選任された現農業委員の任期は、令和8年7月19日までとなる。 引き続き申請のあった案件を審議する。 遊休農地の発生を未然防止するなど、農地利用の最適化を目指した農業委員の活動が求められている。 令和5年4月に施行された(改正)農業経営基盤強化促進法等が令和7年4月より本格実施されることから、新制度に対応した取組みが求められる。 事務の効率化等を目指し、農業委員会サポートシステムの活用やタブレットを活用した取組みが求められている。 関連施策等により農業委員の内女性委員の割合を増やすことが求められている。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>農地利用の最適化活動を推進する。 町が策定する農業経営基盤強化促進計画に向け農地所有者の意向調査や目標地図(案)の作成が求められている。 農業委員に貸与しているタブレットの利用促進を進めるとともに、ペーパーレス化等より一層の活用策について検討を進める。 三役等会議や各部会を開催し、課題事項について審議検討を行う。 農業委員の内、女性委員の割合を増やすため、女性委員のあり方等について検討を進める。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	6,041,190	4,372,350	5,400,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	3,721,862	5,214,554	4,105,000
	事業費計	円	9,763,052	9,586,904	9,505,000
活動指標	農業委員会総会の開催回数	回	12	13	12
	三役等会議の開催回数	回	2	2	2

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
農地利用最適化道交付金	円	5,576,220	4,372,350	5,400,000
情報収集業務効率化支援事業道交付金	円	464,970		
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 農業委員会総会等の開催 (() 内は前年度実績)

(1) 開催回数・・・・13回 (12回)

(2) 総会提出議案の件数

ア 報告事項・・・・38件 (41件)

農地法第3条の3第1項の規定による届出報告の件・・・・	11件 (12件)
農地法第4条の規定による許可報告の件・・・・	0件 (3件)
農地法第5条の規定による許可報告の件・・・・	6件 (7件)
農地等一時転用申請に係る復元状況調査報告の件・・・・	4件 (7件)
農地等移動適正化あっせん報告の件・・・・	8件 (10件)
農地等移動適正化あっせん事業に係るあっせん委員会省略の件・・・・	6件 (1件)
時効取得を原因とする農地の権利移転に係る調査書提出の件・・・・	1件 (1件)
農地賃貸借料情報公表報告の件・・・・	1件 (1件)
農業委員会事務局職員人事発令の件・・・・	1件 (1件)
北海道指導農業士及び北海道農業士認定候補者推薦賛同報告の件・・・・	1件 (1件)

イ 審議事項・・・・64件 (73件)

農地法第3条の規定による許可の件・・・・	12件 (12件)
農地法第4条の規定による許可の件・・・・	2件 (2件)
農地法第4条の規定による意見聴取の件・・・・	1件 (1件)
農地法第5条の規定による許可の件・・・・	1件 (5件)
農地法第5条の規定による意見聴取の件・・・・	7件 (6件)
農地法第18条第6項の規定による通知書の審査の件・・・・	11件 (9件)
農業経営基盤強化促進法法等の一部を改正する法律(令和4年法律第56号)附則第3条第2項の規定による農用地買入協議要請の件・・・・	4件 (5件)
農業経営基盤強化促進法法等の一部を改正する法律(令和4年法律第56号)附則第5条の規定による農用地利用集積計画決定の件・・・・	12件 (11件)
農業振興地域整備計画の変更に係る意見書提出の件・・・・	4件 (7件)
農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用配分計画(案)に係る意見書提出の件・・・・	1件 (1件)
現況証明願いの件・・・・	7件 (8件)
前年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価の件・・・・	1件 (1件)
本年度最適化活動の目標の設定等の件・・・・	1件 (1件)
農地等の利用の最適化の推進に関する指針決定の件・・・・	1件 (1件)
芽室町農地パトロール実施要領一部改正の件・・・・	1件 (1件)
芽室町農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の見直しに係る意見書提出の件・・・・	1件 (1件)
芽室町農業委員会が保有する個人情報の保護に関する規程の一部改正の件・・・・	1件 (1件)
芽室町農村滞在型余暇活動機能整備計画策定に係る意見書提出の件・・・・	1件 (1件)

2 その他会議等の開催

(1) 三役等会議の開催・・・・2回

(2) 部会等の開催

ア 農政部会・・・・	1回
イ 農地部会・・・・	開催なし
ウ ブロック会議・・・・	1回

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	1	農業委員会費	290110	農地法等許可事務

事務事業名	農地法等許可事務
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>農地法等(権利移転や農地転用等)に関する申請を受け申請内容を審査、農業委員による現地調査等をふまえ、農業委員会総会で審議し可否を判断する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>農地法等の許可の申請者、各種証明等の願出者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農地法等の許可の申請者、各種証明等の願出者の農地利用等の権利を確保する。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>令和5年4月より施行された改正農地法において、農業者の下限面積の撤廃など許可要件の一部が変更となっていることから、改正法に基づき申請書等の審査を行う。 農地所有適格法人の定期報告を定められた時期に提出されない事例や、農地法等の手続きが行われていない農地の貸借が一定程度存在している。 農業者数の減少が続く中、地理的な条件や不整形など将来不耕作地となりえる農地が出てくると考えられる。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>法令業務であり、法令に基づき申請書の審査や現地調査などを行い、農地法等の手続きが行われていない農地の貸借については、相続等のタイミング等で指導を行うなど、様々な機会を利用して指導を進める。</p> <p>町から農業経営基盤強化促進計画策定の段階で求められる目標地図(案)を作成するため、農地所有者の意向調査を実施する。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	7,027,540	7,252,760	9,182,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	19,000	15,500	22,000
	一般財源	円	△ 2,976,252	△ 3,823,280	△ 4,506,000
	事業費計	円	4,070,288	3,444,980	4,698,000
活動指標	農地法第3条許可申請の審議件数	件	66	55	64
	農地法第4条・第5条許可申請の審議件数	件	22	12	19
	各種証明書等の願出の件数	件	38	31	44

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
営農証明手数料	円	7,000	7,000	10,000
現況証明手数料	円	12,000	8,500	10,000
農地台帳閲覧手数料	円			1,000
農地台帳記録事項要約書交付手数料	円			1,000
農業委員会費道交付金	円	6,706,000	7,067,000	7,806,000
権限移譲交付金(農地法)	円	148,960	185,760	69,000
農地利用最適化道交付金	円			1,307,000

事務事業の成果に関する説明

1 農地法第3条の規定による権利移動(耕作目的の権利移動)

年度	売 買			贈 与		賃貸借		使用貸借		そ の 他	
	件数	面積	平均単価	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
H25	19件	49.1ha	226,072円/10a	6件	75.4ha	11件	73.9ha	20件	529.8ha		
H26	33件	100.0ha	180,205円/10a	10件	106.5ha	26件	115.6ha	21件	491.7ha	1件	14.9ha(交換)
H27	11件	36.0ha	376,751円/10a	12件	203.1ha	23件	238.1ha	24件	558.8ha		
H28	15件	61.4ha	329,630円/10a	12件	147.5ha	24件	241.5ha	17件	450.0ha		
H29	14件	43.0ha	313,219円/10a	14件	147.4ha	18件	157.9ha	23件	530.0ha		
H30	20件	40.7ha	281,715円/10a	8件	84.5ha	15件	89.3ha	34件	732.2ha		
R1	21件	74.0ha	273,073円/10a	3件	51.8ha	11件	66.0ha	12件	300.7ha		
R2	25件	149.2ha	195,680円/10a	8件	64.1ha	21件	164.5ha	8件	296.3ha	1件	0.1ha(交換)
R3	24件	86.6ha	134,419円/10a	7件	80.4ha	18件	183.8ha	21件	401.1ha		
R4	27件	98.1ha	340,267円/10a	8件	169.0ha	12件	105.1ha	19件	448.5ha		
R5	29件	79.3ha	376,882円/10a	7件	68.9ha	8件	90.5ha	11件	274.5ha		

2 農地法第4条の規定による農地転用(自己所有農地の農地転用)

年度	永久転用		一時転用		届 出		そ の 他(届出を除く農地転用の目的)
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	
H25	4件	0.4ha	-	-	4件	0.3ha	農業用施設 4件
H26	3件	0.2ha	-	-	2件	2.3ha	農業用施設 3件
H27	5件	0.4ha	-	-	7件	1.9ha	農業用施設 3件 農家住宅 2件
H28	4件	0.9ha	-	-	-	-	農業用施設 4件
H29	3件	0.5ha	-	-	-	-	農業用施設 2件 農家住宅 1件
H30	4件	1.0ha	-	-	-	-	農業用施設 4件
R1	1件	0.1ha	-	-	-	-	農業用施設 1件
R2	3件	0.6ha	-	-	-	-	農業用施設 3件
R3	6件	0.6ha	-	-	-	-	農業用施設 4件 農家住宅 2件
R4	6件	0.4ha	-	-	-	-	農業用施設 4件 農家住宅 2件
R5	2件	0.1ha	-	-	-	-	農業用施設 2件

3 農地法第5条の規定による農地転用(農地転用目的の権利移動)

年度	永久転用		一時転用		届 出		そ の 他(届出を除く農地転用の目的)
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	
H25	14件	3.1ha	11件	16.2ha	-	-	農業用施設10件 農家住宅 4件/砂利採取 9件 土採取 2件
H26	6件	0.5ha	8件	11.3ha	1件	0.2ha	農業用施設 2件 農家住宅 4件/砂利採取 7件 土採取 1件
H27	2件	1.9ha	10件	14.0ha	-	-	農業用施設 2件/砂利採取 7件 土採取 3件
H28	7件	2.2ha	10件	16.1ha	-	-	農業用施設 7件/砂利採取 8件 土採取 2件
H29	8件	3.9ha	6件	8.6ha	-	-	農業用施設 7件 農家住宅 1件/砂利採取 4件 土採取 2件
H30	9件	1.7ha	9件	11.8ha	1件	0.1ha	農業用施設 8件 農家住宅 1件/砂利採取 6件 土採取 3件
R1	8件	2.0ha	8件	14.0ha	-	-	農業用施設 6件 農家住宅 2件/砂利採取 6件 土採取 2件
R2	9件	1.9ha	7件	10.3ha	-	-	農業用施設 7件 農家住宅 2件/砂利採取 7件
R3	6件	0.6ha	9件	15.2ha	1件	0.0ha	農業用施設 6件/砂利採取 6件 土採取 3件
R4	10件	1.0ha	8件	12.8ha	-	-	農業用施設 7件 農家住宅 3件/砂利採取 6件 土採取 2件
R5	3件	0.3ha	7件	8.6ha	-	-	農業用施設 2件 農家住宅 1件/砂利採取 6件 土採取 1件

4 各種証明書発行実績

年度	営農証明		現況証明・面積		
	件数	手数料	件数	手数料	面積
H25	29件	14,500円	15件	7,500円	3.8ha
H26	33件	16,500円	16件	8,000円	5.6ha
H27	31件	15,500円	12件	6,000円	3.4ha
H28	24件	12,000円	7件	3,500円	2.8ha
H29	25件	12,500円	2件	1,000円	3.0ha
H30	38件	19,000円	13件	6,500円	2.9ha
R1	15件	7,500円	14件	7,000円	1.9ha
R2	29件	14,500円	18件	9,000円	5.4ha
R3	18件	9,000円	16件	8,000円	3.5ha
R4	14件	7,000円	24件	12,000円	6.6ha
R5	14件	7,000円	17件	8,500円	2.7ha

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	1	農業委員会費	290111	農地あっせん・保有合理化事業

事務事業名	農地あっせん・保有合理化事業
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>農地所有者から売却や貸付けの申出のあった農地について、あっせんを行う。 あっせんの調整状況によっては、農地保有合理化事業を活用する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>あっせん(売却、貸付け)の申出のあった農地所有者 それらの土地の権利取得を希望する農業者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農地利用の最適化を目指し、担い手となる農業者に集積できるようあっせんを行う。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>現段階では、農業者の規模拡大意欲もあり、申出のあった農地については担い手への権利移転を調整できているが、今後、条件不利地について調整が困難となることも考えられる。</p> <p>現在、町が定める農用地利用集積計画により権利設定を行っているが、関係法令の改正により、農地バンクが定める農用地利用集積等促進計画による権利設定を行うこととなり、事務手続き等の見直しが必要となる。 また、農地バンクが買入を行う際に、新たに手数料を負担する必要がある。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>継続して担い手への農地の集積に取り組んでいくこととなるが、関係法令等の改正により、事務手続きが見直され、関係書類の簡素化や道からの権限移譲などにより、事務処理の迅速化を進める必要がある。 あっせんの調整にあたっては、今後町により策定される「地域農業経営基盤強化促進計画」との整合性にも留意していくことになる。遊休農地や不耕作地の発生を未然に防いでいくための取組みを早い段階から検討する必要がある。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	122,130	152,234	84,000
	一般財源	円	29,288	38,777	92,000
	事業費計	円	151,418	191,011	176,000
活動指標	あっせんによる売買・賃貸借の件数	件	87	111	70
	農地保有合理化事業による買入の件数	件	8	12	6
	農地中間管理事業による新たな賃貸借の件数	件			

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
譲渡証明手数料	円	6,500	7,000	6,000
農地保有合理化促進事業事務委託料	円	93,000	122,000	53,000
農地中間管理事業事務委託料	円	22,630	23,234	25,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 農地等あっせん事業

(1) 農地等あっせん委員会の開催 8回

※あっせん委員 (農業委員) 延べ43人出席

(2) あっせんの結果

① 売買のあっせん

成 立 27件 (75.4ha)

不成立 12件 (88.7ha)

※不成立の案件については、農地保有合理化事業により、
(公財)北海道農業公社に売却し、その後、北海道農業公社より
申出者に対し、一時貸付け (5年間) を行っている。

② 賃貸借のあっせん

成 立 84件 (377.5ha)

不成立 0件

2 農地中間管理事業 新規 0件

3 農地保有合理化事業

(1) (公財)北海道農業公社による買入 12件 (88.7ha)

(2) (公財)北海道農業公社より売渡 9件 (42.1ha)

(3) (公財)北海道農業公社から一時貸付 46件 (210.4ha) R6.3.31現在

4 譲渡証明書発行実績 (農地売却代金に対する譲渡所得の申告の際の特別控除のため)

年度	件数	手数料
H30	4件	2,000円
R1	13件	6,500円
R2	18件	9,000円
R3	7件	3,500円
R4	13件	6,500円
R5	14件	7,000円

※証明手数料 (500円/1件)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	2	農業総務費	090104	農業担い手育成支援事業

事務事業名 農業担い手育成支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 担い手の自主的活動(自己研鑽等)に対する支援 担い手の経営に対する国・道からの補助金交付支援 担い手育成センターへの参画
2. 対象(何を対象にしているか) 農業者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 農業担い手の支援及び育成

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 高齢化や後継者不足により農家戸数は年々減少しており、農業担い手を取り巻く環境の変化が大きくなっている。また、通年雇用の難しい畑作農家での農繁期における雇用労働力の確保が課題となっている。 基幹産業である農業を振興していくには、新しい時代の農業に対応できる地域の中心となる農業担い手の育成・支援が必要不可欠であり、課題解決のため、農業再生協議会において、令和4年8月に担い手部会を設立した。 また、農業関係機関・企業と連携し、新規就農・労働力確保・配偶者対策を一体のものとして進めていく。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 担い手確保策として、新規就農希望者、雇用労働希望者、配偶者希望者の受け入れについて、農業再生協議会担い手部会による適切な研修体制の構築、受け入れ農家の選定等を実施する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	3,000,000	4,500,000	
	一般財源	円	5,217,813	5,243,009	2,294,000
	事業費計	円	8,217,813	9,743,009	2,294,000
活動指標	補助金額	円	8,067,008	9,607,063	2,115,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
経営継承・発展等支援事業補助金	円	1,500,000	4,500,000	
経営継承・発展等支援事業補助金-R3繰越	円	1,500,000		
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 担い手自主的活動支援事業

農村地域における担い手育成の一環として、町内農業者で構成するグループ等が自主的に行う活動を支援した。

(1) 自己研修等活動推進タイプ (1グループ、30,000円上限)

町内の農業者で構成する5名以上のグループもしくは女性グループが対象。農畜産物に関する知識や調理方法、農業政策、農村生活に必要な知識を習得するための研修会、講演会等の企画・開催もしくは参加活動に対し、経費の一部を助成した。(補助対象経費の2分の1以内。ただし1対象者当たり3万円を限度とする。)

支援件数:2件 支援金額:57,592円

(2) 食育・地産地消・消費者交流イベント支援タイプ(1グループ、100,000円上限)

農業体験など食育や地産地消の推進となる活動の企画・実施や、消費者との交流を目的とした地元農畜産物等の大規模なイベント販売活動などを通じて、芽室町農業及び農村活動を周知・普及し、交流人口を増やして「農業の応援団づくり」を推進する活動に対し、経費の一部を助成した。(補助対象経費の10分の10以内。ただし、1対象者当たり10万円を限度とする。)

支援件数:3件 支援金額:294,471円

2 経営継承・発展等支援事業

担い手から経営を継承し、発展させるための取組を支援することにより、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保することを目的に事業を実施した。

※補助上限100万円(国と市町村が2分の1ずつ負担)

(1) 事業取組者9件 (個人9件)

(2) 事業実績9件 総事業費 15,201,753円 うち国費 4,500,000円 うち町費 4,500,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	3	農業振興費	090106	地域農業振興事業

事務事業名	地域農業振興事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 農業振興基金を管理、活用し本町農業の振興を図る。 耕地防風林の拡大により、農作物への風害を軽減し、併せて農村景観を保全するため、耕地防風林を保育造成する費用の助成を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内産農畜産物
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 需要に応じた生産の拡大

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 継続して農業基盤の強化を行うため、基金を活用している。 農業を基幹とした地域産業を振興していくため、とち財団の地域振興事業に対し負担金を支出している。 風害の軽減と農村景観の保全のため、耕地防風林の造成・維持に対して支援を行っている。 また、耕地防風林造成促進モデル事業は、強風による表土飛散や農作物の被害を軽減するために幹線防風林配置計画に基づき、耕地防風林を整備するため、土地所有者に防風林造成に理解を得る必要がある。 人・農地プランの法定化に伴い、地域での話し合いや目標地図の作成に関する協議を進める必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 既存の耕地防風林補助事業の補助内容の拡充を検討することで最適な配置で耕地防風林造成を支援する耕地防風林造成促進モデル事業に取り組む。今年度は祥栄地区道道54号東側、上伏古地区の植栽を実施し、来年度以降に実施する箇所についても協議し、実施していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	7,740		7,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	39,293,028	40,682,942	47,398,000
	一般財源	円	842,604	829,750	831,000
	事業費計	円	40,143,372	41,512,692	48,236,000
活動指標	耕地防風林保育造成事業補助金	円	988,681	1,484,854	3,200,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
権限移譲交付金(農振法)	円	7,740		7,000
農業振興基金利子	円	4,347	3,678	4,000
農業振興基金繰入金	円	988,681	1,484,854	3,200,000
森林環境譲与税基金繰入金	円		894,410	5,894,000
哺育育成施設整備負担金	円	38,300,000	38,300,000	38,300,000
寄附金管理基金繰入金	円			

事務事業の成果に関する説明

1 耕地防風林保育造成事業

	申込人数	申込数量	申込価格	実績人数	実績数量	実績価格
苗木代補助	10人	2,234本	556,776円	10人	2,214本	551,354円
枝払い補助(業者)	6人	6箇所	1,200,000円	6人	6箇所	933,500円
枝払い補助(自力)	0人	0箇所	0円	0人	0箇所	0円
計			1,756,776円			1,484,854円

2 耕地防風林造成支援モデル事業

	申込人数	申込数量	申込価格	実績人数	実績数量	実績価格
苗木代補助	10人	1,624本	481,315円	10人	1,584本	449,790円
植栽補助	10人	1624本	357,280円	10人	1,584本	348,480円
下刈り補助	7人	1,644㎡	180,840円	3人	904㎡	96,140円
計			1,019,435円			894,410円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	3	農業振興費	090110	農作物有害鳥獣駆除事業

事務事業名	農作物有害鳥獣駆除事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 農作物及び家畜等の有害鳥獣被害を防ぐために、電気柵等の設置支援や実施隊員の配置、研究機関との連携による対策を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ヒグマ、シカ、キツネ、カラス、ドバト、キジバト、アオサギ、ユキウサギ、アライグマ、タヌキ
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 有害鳥獣個体数を減少させる。 有害鳥獣の農業生産現場への侵入を防止する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 鳥獣の個体数増加や農作物への被害が深刻になっており、駆除依頼に迅速に対応できるよう、平成23年度から2年間有害鳥獣駆除員を試行、平成25年度から本格実施を行っている。 令和2年度からは、会計年度任用職員制度の導入に伴い、駆除員は「個人委託又は有償ボランティア」に区分されたため、鳥獣被害対策実施隊員として従事し、農繁期は1日2人体制で町内の巡回業務を担っている。 有害鳥獣の適切な残滓処理を行うため、平成27年度に残滓処理施設を建設し運用を開始した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 生息数が増加しているアライグマの防除を促進するため、わな免許を所持していなくても、わな捕獲が可能になる「外来生物法における捕獲技術講習会」を引き続き開催し、防除従事者を増やしていく。また、ハンターと連携し、効果的なわなの設置を行う。 ハンターの高齢化に伴う担い手の減少を防ぐため、猟友会及び若手ハンターと連携し、普及啓発活動を行うことで、将来的に農村地域で一体となった駆除活動を行えるような体制づくりに取り組む。 また、令和4年度に導入した鳥獣忌避資材(モンスターウルフ、鹿ソニック)による追い払いの効果実証を行い、農作物の鳥獣被害の減少及び駆除活動の省力化を図る。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	2,621,800	3,203,900	3,336,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	3,456,124	5,461,192	5,488,000
	一般財源	円	11,714,604	9,326,039	10,140,000
	事業費計	円	17,792,528	17,991,131	18,964,000
活動指標	駆除員、猟友会員の役付延べ人数	人	905	849	849
	電気柵設置助成	円	695,748	200,000	850,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
エゾシカ緊急対策事業道補助金	円	140,000	280,000	280,000
権限移譲交付金(鳥獣保護及び狩猟適正化法)	円	584,800	596,700	596,000
鳥獣被害防止総合対策事業道補助金	円	1,897,000	2,327,200	2,460,000
残滓処理施設管理費用負担金	円	3,456,124	3,448,192	3,466,000
寄附金管理基金繰入金	円		2,013,000	2,022,000
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 有害鳥獣捕獲数

	カラス	ハト	タヌキ	キツネ	ユキウサギ	シカ	クマ	アライグマ	合計
R5	269	176	32	115	1	271	20	246	1,130
R4	160	218	16	149	2	218	15	221	999

※アライグマの捕獲数は外来生物法に基づく捕獲を含みます。

2 鳥獣被害対策実施隊員活動実績

令和5年4月～令和6年3月までの出役日数 409 日

※令和4年度出役日数 393日

有害鳥獣駆除数

	カラス	ハト	タヌキ	キツネ	ユキウサギ	シカ	クマ	アライグマ	合計
R5	106	0	32	42	0	7	0	148	335
R4	12	2	16	50	2	15	1	145	243

※鳥獣被害対策実施隊員による駆除数は、「1 有害鳥獣捕獲数」の内数です。

3 残滓処理施設の設置と運営

① 残滓処理施設管理委託料 6,798,000 円 ※令和4年度 6,807,460 円

受入実績

(頭・羽)

	カラス	ハト	キツネ	ユキウサギ	シカ	クマ	その他※	合計	残滓推定重量(kg)
R5	303	92	115	1	234	11	288	1,044	17,960.5
R4	178	64	147	0	183	7	225	804	14,241.9

※その他に、アライグマとタヌキを含みます。

<有害鳥獣対策協議会の主な事業>

- ① 電気柵助成事業 3件 総延長1,982m 助成額200,000円(町・JAめむろ各1/2負担)
- ② 狩猟免許等取得助成事業 5名 助成金額431,950円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	3	農業振興費	090229	環境保全型農業直接支援対策事業

事務事業名 環境保全型農業直接支援対策事業

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>化学肥料・化学合成農薬の5割低減と併せてカバークロープ作付・堆肥施用・有機農業等の、地球温暖化防止効果の高い取組を行う農業者に対し支援を行う。取組内容により交付単価が変わるが、交付単価のうち国が1/2、道と町が1/4ずつ負担する。</p> <p>令和2年度から第2期がスタートし、有機農業の要件の変更(国際水準の有機農業の実施が要件)や交付単価の見直しが行われた。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>化学肥料・化学合成農薬の5割低減、カバークロープ作付を行うなど、地球温暖化防止効果の高い取組を行う農家</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>環境保全型農業の導入により、持続可能な農業経営を確立する。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>令和6年度から農林水産省の各種補助事業において環境負荷低減のクロスコンプライアンスが導入されたことを受け、各農業者が「環境負荷低減のチェックシート」による自己点検に取組むことが要件となったため、本事業の取組によるさらなる成果向上が期待される。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>計画書、実施状況報告の受付事務を効率的に行うことで、取組農家の負担軽減を図る。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	63,225,508	67,655,437	66,395,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	20,757,570	22,217,595	21,781,000
	事業費計	円	83,983,078	89,873,032	88,176,000
活動指標	交付金額	円	83,030,280	88,870,380	87,119,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
環境保全型農業直接支援対策事業道補助金	円	62,272,710	66,652,785	65,338,000
環境保全型農業直接支援対策市町村推進事業道補助金	円	952,798	1,002,652	1,057,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

作物の化学肥料・化学合成農薬の5割低減に加え、カバークロープ作付、堆肥施用を行うなど、地球温暖化防止効果の高い取組を行う農業者に対し支援を実施。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施活動戸数 (法人含む)	119 戸	120 戸	126 戸
実カバークロープ	101,535 a	100,457 a	97,390 a
施堆肥施用	51,372 a	47,532 a	52,933 a
面有機農業	2,380 a	1,535 a	1,506 a
有機農業(加算あり)	411 a	0 a	0 a
積リビングマルチ	3,545 a	0 a	131 a
合計	159,243 a	149,524 a	151,960 a
交カバークロープ	6,000 円/10a	6,000 円/10a	6,000 円/10a
付堆肥施用	4,400 円/10a	4,400 円/10a	4,400 円/10a
単有機農業(雑穀以外)	12,000 円/10a	12,000 円/10a	12,000 円/10a
有機農業(加算あり)	14,000 円/10a	14,000 円/10a	14,000 円/10a
価リビングマルチ(麦以外)	5,400 円/10a	5,400 円/10a	5,400 円/10a
リビングマルチ(麦系)	3,200 円/10a	3,200 円/10a	3,200 円/10a
交国負担額	44,435,190 円	41,515,140 円	41,786,820 円
付道負担額	22,217,595 円	20,757,570 円	20,893,410 円
金町負担額	22,217,595 円	20,757,570 円	20,893,410 円
合計	88,870,380 円	83,030,280 円	83,573,640 円

※負担割合 国 1/2、北海道 1/4、町 1/4

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名				
5	農林産業費	1	3	農業費	3	農業振興費	130107	食農理解促進事業

事務事業名	食農理解促進事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めむろ農業小学校の実施(授業準備、関係機関との調整等) ・食農教育事業の実施 ・地産地消バスツアーの実施 ・食育に関する講演会等の実施 ・道外高校生を受け入れる農家民泊の活動支援
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>町民並びに町内の小学生及びその保護者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農作業体験等を通して、基幹産業である農業の素晴らしさや苦労を実感し、食への価値観を高めることで、未来の農業応援団となり、地元産の農畜産物の優位性と基幹産業である農業への理解を深めてもらう。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>めむろ農業小学校は、町内農家で構成されているめむろ農業小学校指導者会が指導を行っている。</p> <p>食農教育は、令和5年度から芽小6年と西小6年で実施することとなり、学年の統一が図られた。今後は食農教育を定着させ継続した取り組みを実施しつつ町内全小中学校で関係授業を実施につなげられるように関係機関と連携し、協議していく。</p> <p>地産地消バスツアー及び食育講演会については、住民が食と農とのつながりをより意識できるよう内容を検討する。</p> <p>これら3つの事業に取り組むことで、基幹産業である農業への理解と郷土愛をはぐくむ。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>食農教育は教育委員会、指導農業士会、JA振興センター等と連携し、実施内容を検証し、改善を行うことにより、食農教育の定着化を進めるとともに、学校と農業者が直接行っている活動については、農林課としての関わり方を検討し、町内全小中学校への波及効果や取り組みを促すために、関係機関と協議を進める。</p> <p>めむろ農業小学校は今後も農業体験をメインに事業を展開し、農業と食の大切さを体感するという軸は保ちながら、継続して実施する。</p> <p>地産地消バスツアー及び食育講習会は引き続き民間の発想力、企画力、発信力を期待して芽室町観光物産協会を委託先として、事業実施時期や受入先等を委託先と検討しながら進める。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	2,082,000	619,405	143,000
	一般財源	円	415,631	1,769,901	2,440,000
	事業費計	円	2,497,631	2,389,306	2,583,000
活動指標	めむろ農業小学校の開校回数	回	6	7	7
	事業実施経費	円	2,497,631	2,389,306	2,583,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
農業小学校授業料	円	82,000	82,000	137,000
寄附金管理基金繰入金	円	2,000,000	537,405	6,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 めむろ農業小学校

農業体験を通じて、農業を身近に感じてもらい、「食べ物」を作ることの大変さや素晴らしさを実感してもらうことで「食」に対する価値観を高めることを目的に実施。

●年度別参加者数の推移

年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
人	40	42	39	37	47	43	24	34	31	30	30	19	35	34	32	51	42	49
家庭	32	32	32	27	32	30	16	17	20	23	25	16	28	25	25	42	35	38
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5											
人	49	33	35	中止	40	41	41											
家庭	36	28	30	中止	30	33	35											

2 地産地消バスツアー

芽室の生産者とのふれあいや生産現場の見学など、様々な農業体験を通じて、地元農畜産物の理解を深めることを目的に実施。

●年度別参加者数の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
回数	2	1	2	2	中止	1	2	2	中止	2	2	2
人数	22	34	56	59	中止	37	50	45	中止	62	60	25

※H28年は台風による災害の影響で中止。

3 食育講演会

食育に関する講演会・フォーラムを実施し、本町の基幹産業である農業を活かした食育・地産地消の推進を行う。

令和5年度は、芽室町を代表する作物の一つである、とうもろこしに関する講演会を開催し、特産品の紹介等を行った。

●年度別参加者数の推移

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
延べ人数	50	120	80	中止	中止	90	中止	中止	中止	162	60

※H28、H29年は台風による災害の影響で中止。

4 食農教育

基幹産業である農業に対する理解や郷土を愛する心を育むため、芽室小学校6年生、芽室西小学校6年生を対象に食農教育の実施。

※令和5年度より、芽室西小学校の対象が3年生から6年生となり、学年の統一が図られた。

- (1) 事前学習
- (2) 圃場学習(播種、機械作業見学等)
- (3) 圃場学習(草取り、追肥等の管理作業)
- (4) 圃場学習(収穫)
- (5) 事後学習

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
5	1	5	130301	
農林費	農業費	畜産業費		草地整備事業

事務事業名	草地整備事業
-------	--------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>(公財)北海道農業公社が実施する公社営事業により畜産農家の草地・施設整備及び町営牧場の草地整備を実施。 令和2年度:計画策定 令和3~6年度:事業実施</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>畜産農家及び町営牧場</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>適切な草地整備の実施による、良質な粗飼料の確保。 畜舎等の施設整備による、効率的な経営の実現。 町営牧場における、適切な草地整備の実施による、良質な粗飼料の確保。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>北海道農業公社が実施する公社営事業により、畜産農家及び町営牧場が所有する牧草地、施設等の整備、更新等を行う。 海外から輸入している飼料価格が高騰し、草地整備により自給飼料の増産が必要となっている。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>令和元年度の事業量調査ならびに計画策定準備に基づき、令和2年度に事業計画の策定を行い、令和3~6年度に事業実施。 次期計画については、令和10~13年度の実施を予定。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円	16,600,000	8,000,000	12,500,000
	その他(使用料等)	円	14,215,199	12,688,685	9,761,000
	一般財源	円	3,093,339	9,974	104,000
	事業費計	円	33,908,538	20,698,659	22,365,000
活動指標	畜産農家戸数	戸	48	45	45

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
草地畜産基盤整備事業受益者負担金	円	14,215,199	12,688,685	9,761,000
草地整備事業債	円	16,600,000	8,000,000	12,500,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■ 草地整備事業実施状況と計画 事業実施年度:令和3年度～令和6年度

年 度	
令和3年度(実績)	草地造成 3.15ha 草地整備 47.28ha 暗きよ排水 18.89ha 隔障物整備 1か所
令和4年度(実績)	草地造成 19.35ha 草地整備 31.79ha 暗きよ排水 0.92ha 隔障物整備 2か所
令和5年度(実績)	草地造成 0.85ha 草地整備 45.78ha 暗きよ排水 5.01ha
令和6年度(計画)	草地整備 62.50ha 暗きよ排水 2.68ha

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	6	牧野管理費	090206	町営牧場管理運営事業

事務事業名	町営牧場管理運営事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内酪農家が飼養する搾乳後継牛(6か月齢から24か月齢程度)の預託管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内酪農家が飼養する6ヶ月齢から24ヶ月齢程度の乳牛
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 適正な増体重の確保と人工授精の実施により、優良な搾乳後継牛を育成する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 コロナ禍による牛乳・乳製品の需要の低迷の中、飼料、肥料、燃料、資材価格等の高騰により、畜産経営を取り巻く環境は先行きの見えない状況となっている。夏期放牧の実施は、町内酪農家の労働負担軽減や自給飼料の補完、後継牛の育成など経営コスト低減や経営体質強化につながっており、町営牧場の果たす役割は重要性を増している。 町営牧場の収支状況は、大きな赤字体質が継続しており、経営改善が必要となっている。 令和3年度から哺育育成施設が稼働しており、放牧と哺育事業が連携し、町営牧場全体の円滑な事業運営が必要となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 酪農経営が厳しい中、町営牧場の重要性は増しており、預託農家の期待に応えるよう、業務委託先のJAめむろと協力し、増体率及び受精率の向上に努める。 毎年800頭以上の預託牛を集めることで牧場使用料を確保し、収支の改善に努める。 将来的にはJAめむろによる哺育育成施設(事業実施主体は哺育育成施設運営協議会)と一体的な運営を目指し、事業を進める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			800,000
	地方債	円	7,300,000	11,900,000	
	その他(使用料等)	円	20,313,722	31,902,998	34,736,000
	一般財源	円	35,039,780	16,188,268	15,699,000
	事業費計	円	62,653,502	59,991,266	51,235,000
活動指標	入牧頭数(実頭数)	頭	579	742	750
	入牧頭数(延べ頭数)	頭	71,027	98,988	103,344

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
町営牧場利用料	円	20,313,722	28,311,998	29,556,000
牧場業務用ローン活用事業道補助金	円			800,000
寄附金管理基金繰入金	円		3,591,000	4,080,000
牧草売払代	円			1,100,000
町営牧場作業車両購入事業債	円	7,300,000		
町営牧場道路整備事業債	円		11,900,000	

事務事業の成果に関する説明

1 町内利用農家戸数

区分	戸数		利用率
乳牛	酪農家・乳牛育成農家戸数	45戸	42.2%
	入牧農家戸数	19戸	

2 入牧頭数及び入牧期間

牧場	群編成	入牧期間	入牧日数	入牧実頭数	放牧延べ頭数
新嵐山牧場	乳牛 3群	5/24 ~ 10/16	146日	275頭	32,840頭
光勇牧場	乳牛 4群	5/16 ~ 10/20	158日	467頭	66,153頭
合計				742頭	98,993頭

3 死産事故、流産発生件数

牧場	死産	流産	死産の理由
新嵐山牧場		1	—
光勇牧場		3	—

4 放牧牛衛生管理

対策事項	実施項目	実施内容
疾病対策	ワクチンの接種	入牧前に全頭接種(5種不活ワクチン、6種混合ワクチン、6種生ワクチン)
ダニ熱、外部寄生虫対策	駆虫薬(ハイコール,ETB)の実施	放牧期間中 13回駆虫
内部寄生虫対策	駆虫薬(エブリネック,アイホメック)の実施	放牧期間中 10回駆虫
趾皮膚炎対策等	牛体消毒(クリアル)	放牧期間中 13回消毒

5 増体重

入牧期間中の増体重	50.5 kg/頭	(前年 : 56.6 kg/頭)
-----------	-----------	--------------------

6 人工授精の実施状況

対象頭数	受胎頭数	受胎率
362頭	270頭	74.6%

(前年 : 76.5%)

7 収支状況

区分	金額(円)	摘要
特財		
入牧料	28,311,998	乳牛:延べ 98,993頭 × @286
合計	28,311,998	
支		
草地維持	機械利用料	重機使用料
	諸材料費	6,428,343 作業機購入費、牧場施設管理原材料費
	機械修理費	作業車等修繕費
	その他	
小計	6,428,343	
家畜管理費	家畜衛生費	433,713 ワクチン料金助成金
	小計	433,713
牧場委託料	管理委託料	38,742,000 茅室町農業協同組合に役務委託をするのに要した経費
	小計	38,742,000
諸雑費等	施設整備費	14,322,000 放牧施設修繕工事費
	負担金等	65,210 公共牧場関連団体負担金、職員旅費
	小計	14,387,210
合計	59,991,266	
出		

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
光勇牧場内道路整備工事	11,913,000		11,900,000		13,000	(有)工藤建設 R5.6.27~R5.11.30
新嵐山牧場暗渠排水工事	418,000				418,000	村上建設(株) R5.7.24~R5.10.31
光勇牧場取付設置工事	715,000				715,000	村上建設(株) R5.11.15~R5.11.27
光勇牧場法面補修工事	396,000				396,000	村上建設(株) R5.11.15~R5.11.27
合計	13,442,000	0	11,900,000	0	1,542,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	7	土地改良費	090301	道営土地改良事業参画事業

事務事業名	道営土地改良事業参画事業
-------	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>北海道が事業主体となる「道営土地改良事業」に参画し、農村地域を巡回する形で、農地の基盤整備を進める。</p> <p>受益者の事業申請に基づき、暗渠排水、客土、除礫、区画整理、畑地かんがい用水、明渠排水等の整備を実施し、補助事業費残額分を受益者及び町で負担している。</p> <p>主に道営事業の計画から実施に伴う地元調整を町が担っている。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>農地</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農業生産の基盤となる農地等の整備により、農業生産性の向上と担い手の支援を行う。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>【現状】</p> <p>R5年度は、5地区(モデル地区含む)の整備及び2地区の調査計画業務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽室北第2地区 事業期間 H28～R5 ・芽室北第3地区 事業期間 H29～R6 ・河北地区(営農用水) 事業期間 H26～R5 ・美生第2地区 事業期間 R5～R13 ・芽室びせい地区 事業期間 R2～R6(モデル事業) ・美生第3地区 調査期間 R4～R5(調査計画) ・上美生第3地区 調査期間 R5～R6(調査計画) <p>【課題】</p> <p>意欲の高い農業者から地域状況の課題に応じた基盤整備要望がある。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>【今年度実施予定】</p> <p>今年度は、4地区(モデル地区含む)の整備及び1地区の調査計画業務を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽室北第3地区 事業期間 H29～R6 ・美生第2地区 事業期間 R5～R13 ・美生第3地区 調査期間 R6～R14 ・芽室びせい地区 事業期間 R2～R6(モデル事業) ・上美生第3地区 調査期間 R5～R6(調査計画) <p>【解決策】</p> <p>事業推進目標となる「中長期計画」に基づき、事業主体と調整を図りながら、実施地区3地区を基本とした計画的な事業推進を図る。また、新規地区採択に向けた取り組みを進める。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	59,093,074	63,371,908	84,860,000
	地方債	円	121,800,000	90,200,000	24,900,000
	その他(使用料等)	円	23,153,706	25,394,229	56,400,000
	一般財源	円	28,504,435	26,062,255	11,468,000
	事業費計	円	232,551,215	205,028,392	177,628,000
活動指標	事業費町負担額	円	232,551,215	205,028,392	177,628,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
道営土地改良事業受益者負担金	円	13,733,229	9,648,320	21,075,000
道営土地改良事業受益者負担金－前年度繰越	円	9,420,477	15,745,909	35,325,000
道営土地改良事業監督等補助道委託金	円	2,743,400	2,120,360	1,355,000
道営畑総事業債	円	26,200,000	21,000,000	10,800,000
道営畑総事業債－前年度繰越	円	95,600,000	69,200,000	14,100,000
農業経営高度化促進事業道補助金	円	19,352,551	13,963,363	26,520,000
農業経営高度化促進事業道補助金－前年度繰越	円	19,207,123	27,948,185	30,615,000
次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業道補助金	円	8,930,000	6,440,000	12,240,000
次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業道補助金－前年度繰越	円	8,860,000	12,900,000	14,130,000

事務事業の成果に関する説明

○道営 水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備型）

地区名	全体（完了見込計画）	前年度まで	R5年度実績	R6年度以降	工期
水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第2地区)	暗渠排水 A=180.7ha	A=180.7ha			平成28年度 ～ 令和5年度
	区画整理 A=136.1ha	A=136.1ha			
	土層改良 A=61.0ha	A=61.0ha			
	畑地かんがい A=237.4ha	A=237.4ha	付帯工 一式		
水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第3地区)	暗渠排水 A=67.7ha	A=67.7ha			平成29年度 ～ 令和6年度
	区画整理 A=384.0ha	A=384.0ha		付帯工 一式	
	土層改良 A=3.5ha	A=3.5ha			
	畑地かんがい A=626.0ha	A=231.2ha	A=394.8ha	付帯工 一式	
水利施設等 保全高度化事業 (美生第2地区)	区画整理 A=370.3ha			A=370.3ha	令和5年度 ～ 令和13年度
	畑地かんがい A=531.6ha		調査設計	A=531.6ha	
水利施設等 保全高度化事業 (美生第3地区)	区画整理 A=598.4ha			A=598.4ha	令和6年度 ～ 令和14年度
	畑地かんがい A=633.1ha		計画策定	A=633.1ha	

※畑作農業の安定的な経営を図るため、上記事業により末端整備等生産基盤の整備を実施する。

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
道営水利施設等 保全高度化事業 (河北地区) 管路工 一式 農山交付金現年分	17,037,467 負担率 27.5%		道営畑総事業債 15,300,000		1,737,467	現年分事業費 61,954,424
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第2地区) 付帯工 一式 農山交付金現年分	12,241,906 負担率 20.0%	国道補助金 5,814,905	道営畑総事業債 1,600,000	農家負担 4,590,715	236,286	現年分事業費 61,209,533
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第3地区) 畑地かんがい 一式 補助金現年分	14,907,941 負担率 20.0%	国道補助金 7,081,271	道営畑総事業債 2,000,000	農家負担 1,771,123	4,055,547	現年分事業費 74,539,708
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第3地区) 畑地かんがい 一式 農山交付金現年分	8,672,840 負担率 20.0%	国道補助金 3,945,439	道営畑総事業債 1,100,000	農家負担 574,047	3,053,354	現年分事業費 43,364,200
道営水利施設等 保全高度化事業 (美生第2地区) 調査設計 一式 補助金現年分	7,508,160 負担率 20.0%	国道補助金 3,561,748	道営畑総事業債 1,000,000	農家負担 2,712,435	233,977	現年分事業費 37,540,800
道営水利施設等 保全高度化事業 (美生第3地区) 計画策定 一式 補助金現年分	516,470 負担率 50.0%				516,470	現年分事業費 1,032,940
現年分合計	60,884,784	20,403,363	21,000,000	9,648,320	9,833,101	279,641,605

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
道営水利施設等 保全高度化事業 (河北地区) 管路工 一式 補助金補正繰越分	48,674,972 負担率 27.5%		道営畑総事業債 48,600,000		74,972	繰越分事業費 176,999,900
道営水利施設等 保全高度化事業 (河北地区) 管路工 一式 交付金繰越分	9,075,000 負担率 27.5%		道営畑総事業債 8,100,000		975,000	繰越分事業費 33,000,000
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第2地区) 畑地かんがい 一式 補助金補正繰越分	27,191,494 負担率 20.0%	国道補助金 12,915,959	道営畑総事業債 4,000,000	農家負担 10,196,810	78,725	現年分事業費 135,957,470
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第2地区) 畑地かんがい 一式 補助金繰越分	4,017,200 負担率 20.0%	国道補助金 1,908,170	道営畑総事業債 500,000	農家負担 1,506,450	102,580	現年分事業費 20,086,000
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第2地区) 畑地かんがい 一式 交付金繰越分	941,820 負担率 20.0%	国道補助金 447,365	道営畑総事業債 100,000	農家負担 353,183	41,272	現年分事業費 4,709,100
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第3地区) 畑地かんがい 一式 補助金補正繰越分	49,999,620 負担率 20.0%	国道補助金 23,749,820	道営畑総事業債 7,400,000	農家負担 3,687,816	15,161,984	現年分事業費 249,998,100
繰越分小計	139,900,106	39,021,314	68,700,000	15,744,259	16,434,533	620,750,570

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第3地区) 区画整理 一式 補助金繰越分	4,400 負担率 20.0%	国道補助金 2,090		農家負担 1,650	660	現年分事業費 22,000
道営水利施設等 保全高度化事業 (芽室北第3地区) 畑地かんがい 一式 交付金繰越分	3,839,880 負担率 20.0%	国道補助金 1,824,781	道営畑総事業債 500,000		1,515,099	現年分事業費 19,199,400
繰越分小計	3,844,280	1,826,871	500,000	1,650	1,515,759	19,221,400
繰越分合計	143,744,386	40,848,185	69,200,000	15,745,909	17,950,292	639,971,970

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	7	土地改良費	090302	土地改良施設維持管理事業
14	災害復旧費	1	農林業施設災害復旧費	1	農業用施設災害復旧費	500008	災害復旧事業(土地改良施設)

事務事業名	土地改良施設維持管理事業
-------	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 国営及び道営基盤整備事業等で整備された明渠排水路を維持管理することにより、農用地の冠水防止及び湿害対策につながる。
2. 対象(何を対象にしているか) 国営及び道営基盤整備事業等で整備された明渠排水路。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ゲリラ豪雨や大雨災害による農用地の冠水及び湿害の防止が図られる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 【現状】 国営及び道営事業などの農業基盤整備により、明渠排水路が整備され、土地改良施設として町が維持管理を行っている。 【課題】 近年、ゲリラ豪雨や台風により、農用地からの土砂が排水路に流入し、土砂堆積により流下能力が低下している状況がある。排水路は農用地からの暗渠排水などを受け、農用地の湿害を防ぐ重要な土地改良施設であるため、床さらいなどの維持管理は必要不可欠である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 経営規模拡大や道営土地改良などの整備による暗渠排水落口の増加、また、局所的な豪雨が多発傾向にあるなかで、明渠排水路の機能保全に伴う定期的な維持管理は必要不可欠であり、今後も有利な事業を活用しながら継続的な実施が必要である。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	4,869,480	62,156,681	
	地方債	円	2,000,000	22,100,000	
	その他(使用料等)	円	261,940	3,202,894	7,418,000
	一般財源	円	15,298,806	38,808,823	5,718,000
	事業費計	円	22,430,226	126,268,398	13,136,000
活動指標	維持管理経費	円	27,155,700	50,285,400	12,020,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
土地改良事業基金利子	円	1,306	1,306	1,000
北海道土地改良事業団体連合会十勝支部独自助成金	円	259,134	405,089	204,000
明渠排水路使用料	円	1,500	1,500	1,000
農業水路等長寿命化・防災減災事業道補助金	円	4,869,480	29,628,280	
農業水路等長寿命化・防災減災事業道補助金(前年度繰越)	円		18,924,400	
一般補助施設整備等事業債	円	2,000,000	11,700,000	
一般補助施設整備等事業債(前年度繰越)	円		8,000,000	
農業施設災害復旧費国庫補助金	円		13,604,001	
農業用施設災害復旧事業債	円		2,400,000	
寄付金管理基金繰入金(ふるさと応援寄付金)	円			7,212,000
備荒資金組合納付金還付金	円		2,794,999	

事務事業の成果に関する説明

単独事業

【歳出】

○土地改良施設維持管理修繕	29,946,400円
計画修繕 堆積土砂除去・支障木伐採他 農業用排水路 3条 L=1,230m	10,912,000円
一般修繕(緊急対応含む) 9件	19,034,400円

○災害復旧事業修繕(土地改良施設)	2,684,000円
-------------------	------------

令和5年8月の豪雨に伴い農業用排水路において、土砂等の堆積、法面崩壊、護岸ブロック破損が発生したことによる修繕

○新朝日幹線明渠排水路災害復旧事業補助率増高申請資料作成委託	77,000円
--------------------------------	---------

○災害復旧事業工事(土地改良施設)	4,994,000円
-------------------	------------

令和5年8月の豪雨に伴い農業用排水路において、土砂等の堆積、法面崩壊、護岸ブロック破損が発生したことによる工事

【歳入】

○土地改良施設維持管理基金積立金 利息分積立	1,306円
------------------------	--------

○明渠排水路使用料	1,500円
-----------	--------

○農業用施設災害復旧事業債(単独分)	300,000円
--------------------	----------

補助事業

【歳出】

○坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事実施設計委託	5,643,000円
-------------------------	------------

○北伏古幹線明渠排水路護岸改築工事 L=210m	65,758,000円
--------------------------	-------------

○新朝日幹線明渠排水路災害復旧事業実施設計委託	3,454,000円
-------------------------	------------

○新朝日幹線明渠排水路災害復旧工事 L=129m	12,661,000円
--------------------------	-------------

【歳入】

○農業水路等長寿命化・防災減災事業道補助金	29,628,280円
-----------------------	-------------

○農業水路等長寿命化・防災減災事業道補助金(R4繰越)	18,924,400円
-----------------------------	-------------

○一般補助施設整備等事業債	11,700,000円
---------------	-------------

○一般補助施設整備等事業債(R4繰越)	8,000,000円
---------------------	------------

○農業施設災害復旧費国庫補助金	13,604,001円
-----------------	-------------

○農業用施設災害復旧事業債(補助分)	2,100,000円
--------------------	------------

○備荒資金組合納付金還付金	2,794,999円
---------------	------------

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
土地改良施設 修繕 (災害復旧単独 その1) 単独事業	1,848,000			1,848,000	0	請負金額 1,848,000円 請負業者 村上建設(株) 着工 令和5年9月22日 完成 令和6年2月16日
土地改良施設 修繕 (災害復旧単独 その2) 単独事業	863,000		300,000	563,000	0	請負金額 863,000円 請負業者 村上建設(株) 着工 令和5年9月22日 完成 令和6年2月16日
新朝日幹線 明渠排水路 災害復旧事業 補助率増高 申請資料作成 委託 単独事業	77,000				77,000	請負金額 77,000円 請負業者 北海道土地改良事業団体連合会 着工 令和5年12月4日 完成 令和6年1月31日
新朝日幹線 明渠排水路 災害復旧工事 その2 単独事業	4,994,000				4,994,000	請負金額 4,994,000円 請負業者 村上建設(株) 着工 令和5年12月25日 完成 令和6年3月14日
合計	7,782,000		300,000		5,071,000	

建設事業等の説明 (単位：円)						備考
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
坂の上幹線 明渠排水路 護岸改築工事 実施設計委託 補助事業	5,643,000	3,837,240	1,600,000		205,760	請負金額 5,643,000円 請負業者 北王コンサルタント(株) 着工 令和5年6月23日 完成 令和6年3月15日
北伏古幹線 明渠排水路 護岸改築工事 補助事業	65,758,000	44,715,440	18,100,000		2,942,560	請負金額 65,758,000円 請負業者 (株)北土開発 着工 令和5年6月8日 完成 令和6年3月4日
新朝日幹線 明渠排水路 災害復旧実施 設計委託 補助事業	3,454,000	1,690,000	1,500,000	264,000	0	請負金額 3,454,000円 請負業者 (株)ズコーシャ 着工 令和5年10月6日 完成 令和5年12月18日
新朝日幹線 明渠排水路 災害復旧工事 補助事業	12,661,000	11,914,001	600,000	146,999	0	請負金額 12,661,000円 請負業者 村上建設(株) 着工 令和5年12月25日 完成 令和6年3月14日
合計	87,516,000	62,156,681	21,800,000		3,148,320	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	1	農業費	7	土地改良費	090307	農業用水施設維持管理事業

事務事業名	農業用水施設維持管理事業
-------	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 国営芽室地区(美生ダム施設)、御影地区、十勝川左岸地区、美蔓地区の用水管路の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 美生ダム、畑地かんがい用水管理。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 畑地かんがい施設の適切な維持管理により農業用水の安定供給が図れる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 【現状】 道営事業による畑地かんがい用水管路の新規路線の施工により、安定した農業経営に向けた整備が進んでいる。また、国営かんがい排水事業芽室川西地区により、美生ダムを利用した小水力発電施設を整備する計画となっている。 【課題】 道営事業の実施により用水管路施設が拡大し、管理対象施設が増加している。近年は美生ダム施設及び用水管路、肥培かんがい管路の老朽化に伴う不具合や漏水等が多発していることから、維持管理経費が増大していくことが懸念される。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 【解決策】 国営事業により老朽化した施設の更新を実施することで維持管理費の軽減が見込まれる。なお、令和8年度からは売電収入が見込めるため今後の維持管理費用への充当も可能となる。今後の維持管理方法や売電収入の充当範囲など検討を進める。 また、芽室町農業DX構想に基づき、農業に関する情報(農振、林班、鳥獣害、土地改良財産)をGIS化し、各分野の情報を共有することで業務の効率化を図る。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	21,279,000	26,485,000	26,916,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	38,162,586	38,334,327	38,159,000
	一般財源	円	1,348,679	△ 5,252,146	△ 1,277,000
	事業費計	円	60,790,265	59,567,181	63,798,000
活動指標	維持管理経費	円	60,790,265	59,474,781	63,798,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
基幹水利施設管理事業道補助金	円	21,279,000	26,485,000	26,916,000
畑地かんがい用水使用料	円	37,809,650	37,994,600	37,589,000
防災情報ネットワーク通信回線等負担金	円	352,936	339,727	356,000
北海道土地改良事業団体連合会十勝支部独自事業助成金	円			214,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

【歳出】

○基幹水利施設管理事業対象業務 別紙—建設事業等の説明
 ※美生ダム等の基幹水利施設について、補助事業を活用した維持管理を実施

【歳入】

○基幹水利施設管理事業道補助金	26,485,000円	
○防災情報ネットワーク通信回線等負担金	339,727円	
○畑地かんがい用水使用料	基本料金 25,150円	面積割 136円/10a
畑地かんがい用水使用料集計		
・御影地区畑地かんがい用水使用料	74件	4,829,600円
・美生1・2期地区畑地かんがい用水使用料	69件	5,037,050円
・雄馬別地区畑地かんがい用水使用料	62件	5,184,600円
・芽室北地区畑地かんがい用水使用料	91件	6,505,350円
・上美生第2地区畑地かんがい用水使用料	32件	2,782,000円
・伏古第2地区畑地かんがい用水使用料	57件	3,912,250円
・伏古第3地区畑地かんがい用水使用料	51件	3,466,750円
・伏古第4地区畑地かんがい用水使用料	68件	4,165,400円
・南平和地区畑地かんがい用水使用料	22件	1,935,500円
・芽室北第2地区畑地かんがい用水使用料	2件	176,100円
合計	528件	37,994,600円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
美生ダム 清掃委託 美生ダム清掃 一式	補助対象 372,900	236,046			136,854	請負金額 372,900円 請負業者 (株)半田美装 着工 令和5年5月26日 完成 令和5年10月31日
美生ダム 施設管理委託 施設管理 一式	補助対象 8,116,800 単費 1,875,600	5,137,934			2,978,866 1,875,600	請負金額 9,992,400円 請負業者 (株)テックベース 着工 令和5年4月1日 完成 令和6年3月31日
美生ダム 自家用電気 工作物保安管理 業務委託 電気保安点検 一式	補助対象 429,000	271,557			157,443	請負金額 429,000円 請負業者 (財)北海道電気保安協会 着工 令和5年4月1日 完成 令和6年3月31日
美生ダム 水利施設草刈 委託その1 水利施設草刈 一式 美生ダム他	補助対象 2,442,000	1,545,786			896,214	請負金額 2,442,000円 請負業者 十勝広域森林組合 着工 令和5年6月19日 完成 令和5年10月20日
美生ダム 水利施設草刈 委託その2 水利施設草刈 一式 ファームポンド	単費 2,310,000				2,310,000	請負金額 2,310,000円 請負業者 十勝広域森林組合 着工 令和5年6月19日 完成 令和5年10月20日
美生ダム 堆砂測量委託 堆砂測量 一式	補助対象 1,848,000	1,169,784			678,216	請負金額 1,848,000円 請負業者 (株)ズコーシャ 着工 令和5年8月14日 完成 令和5年12月15日
委託料小計	補助対象 13,208,700 単独 4,185,600	8,361,107			4,847,593 4,185,600	

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
美生ダム 堤体挙動観測 調査委託 堤体挙動観測 一式	補助対象 1,562,000	988,746			573,254	請負金額 1,562,000円 請負業者 ㈱ズコーシャ 着工 令和5年4月12日 完成 令和6年3月22日
美生ダム 堤体挙動解析 委託 堤体挙動解析 一式	補助対象 1,485,000	940,005			544,995	請負金額 1,485,000円 請負業者 ㈱日水コン北海道支所 着工 令和5年11月6日 完成 令和6年2月28日
美生ダム 施設機器保守 点検委託 施設機器保守 一式	補助対象 5,060,000	3,202,980			1,857,020	請負金額 5,060,000円 請負業者 ㈱表鉄工所 着工 令和5年7月18日 完成 令和5年12月18日
美生ダム 消火器等設備 点検委託 消火器等保守 一式	補助対象 82,500	52,223			30,277	請負金額 82,500円 請負業者 フジ防災㈱ 着工 令和5年6月16日 完成 令和5年11月20日
美生ダム 堤体挙動観測 装置点検委託 観測装置点検 一式	補助対象 2,409,000	1,524,897			884,103	請負金額 2,409,000円 請負業者 北海道富士電機㈱ 着工 令和5年7月3日 完成 令和6年1月30日
美生ダム 分水ゲート等 保守点検委託 ゲート等保守 一式	単独 440,000				440,000	請負金額 440,000円 請負業者 ㈱表鉄工所 着工 令和5年10月3日 完成 令和5年12月8日
委託料小計	補助対象 10,598,500 単独 440,000	6,708,851			3,889,649 440,000	

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
美生ダム 貯水槽清掃 委託 貯水槽清掃 一式	補助対象 75,900	48,045			27,855	請負金額 75,900円 請負業者 クリーン開発(株) 着工 令和5年5月29日 完成 令和6年3月29日
美生ダム し尿浄化槽 維持管理委託 浄化槽維持管理 一式	補助対象 92,400	58,489			33,911	請負金額 92,400円 請負業者 (株)カンキョウ 着工 令和5年6月23日 完成 令和6年3月29日
美生ダム 電気設備点検 委託 電気設備点検 一式	補助対象 5,918,000	3,746,094			2,171,906	請負金額 5,918,000円 請負業者 三菱電機プラントエンジニアリング(株) 着工 令和5年7月18日 完成 令和6年3月15日
美生ダム 畑かんシステム GIS化委託 システムGIS化 一式	単独 2,398,000				2,398,000	請負金額 2,398,000円 請負業者 北海道土地改良事業団体連合会 着工 令和5年8月14日 完成 令和6年3月15日
美生ダム 流木収集処理 業務委託 流木処理 一式	補助対象 3,476,000	2,200,308			1,275,692	請負金額 3,476,000円 請負業者 村上建設(株) 着工 令和5年6月19日 完成 令和5年12月1日
美生ダム 西伏美ファームホント 蜂駆除 蜂駆除 一式	補助対象 11,000	6,963			4,037	請負金額 11,000円 請負業者 クリーン 着工 令和5年8月23日 完成 令和5年8月28日
委託料小計	補助対象 9,573,300 単独 2,398,000	6,059,899			3,513,401 2,398,000	

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
美生ダム 西伏美ファームポイント 美生ファームポイント 蜂駆除 蜂駆除 一式	補助対象 24,200	15,319			8,881	請負金額 24,200円 請負業者 クリーン 着工 令和5年9月6日 完成 令和5年9月8日
美生ダム 西伏美ファームポイント 蜂駆除 蜂駆除 一式	補助対象 11,000	6,963			4,037	請負金額 11,000円 請負業者 クリーン 着工 令和5年10月2日 完成 令和5年10月4日
美生ダム 東芽室放流 警報所蜂駆除 蜂駆除 一式	補助対象 11,000	6,963			4,037	請負金額 11,000円 請負業者 クリーン 着工 令和5年10月24日 完成 令和5年10月27日
委託料小計	補助対象 46,200 単独 0	29,245			16,955 0	
委託料合計	補助対象 33,426,700 単独 7,023,600	21,159,102			12,267,598 7,023,600	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
5	農林産業費	3	農村環境整備対策費	2	環境基盤整備費	090207	農道補修事業
14	災害復旧費	1	農林業施設災害復旧費	1	農業用施設等災害復旧費	500010	災害復旧事業(農業用施設等)

事務事業名	農道補修事業
-------	--------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町道として認定されていない農道(複数農家で利用)を対象に、収穫期に農産物の搬出に支障をきたさないよう、砂利敷などの補修を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 農道(複数農家で利用)
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 収穫期の農産物搬出に支障をきたさないように整備する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 申請個所を現地確認して、評価シート(地盤土質、砂利量、凹凸、傾斜勾配の4項目)の得点によりランク付けすることで砂利量を決定し、補修している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 要望路線すべてを現地確認し、路線ごとにランク付けを行って、緊急性・必要性を客観的に評価して補修工事を実施することで、全ての路線で同等な農作物の搬出作業が行えるようにする。 補修の条件である「複数農業者の利用路線であること」を確認するため、要望取りまとめ時に、要望する方の他に農業者の名前を1戸記載してもらうこととし、現地確認の際、路線沿いに複数のほ場があることを確認する。 また、令和3年度からは原則、連続年実施の廃止及び公益性の高い路線を優先的にする等、公平性の確保や事業費の圧縮に努めている。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円		4,288,000	1,833,000
	一般財源	円	7,948,875	1,578,256	1,871,000
	事業費計	円	7,948,875	5,866,256	3,704,000
活動指標	砂利敷の量	m ³	696	663	663

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
寄附金管理基金繰入金	円		1,923,000	1,833,000
備荒資金組合納付金還付金	円		2,365,000	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

【令和5年度実績】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 農道補修砂利敷工事 | 2,974,400 円 |
| (1)補修箇所 | 34 路線 |
| (2)砂利数量 | 663 m ³ |
| 2 農道補修グレーダ整備 | 238,700 円 |
| (1)補修箇所 | 9 路線 |
| (2)補修延長 | 3,350 m |
| 3 農道補修用コンクリート管 | 119,526 円 |
| (1)補修箇所 | 2 路線 |
| (2)購入個数 | 11 本 |
| 4 緊急補修用砂利購入 | 168,630 円 |
| (1)補修箇所 | 5 路線 |
| (2)砂利数量 | 42 m ³ |
| 5 農道補修砂利敷等工事(災害復旧) | |
| (1)補修箇所 | 4 路線 |
| | 2,365,000 円 |

【令和4年度実績】

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 農道補修砂利敷工事 | 3,135,000 円 |
| (1)補修箇所 | 38 路線 |
| (2)砂利数量 | 696 m ³ |
| 2 農道補修グレーダ整備 | 211,200 円 |
| (1)補修箇所 | 9 路線 |
| (2)補修延長 | 3,240 m |
| 3 農道補修用コンクリート管 | 113,960 円 |
| (1)補修箇所 | 2 路線 |
| (2)購入個数 | 16 本 |
| 4 緊急補修用砂利購入 | 84,315 円 |
| (1)補修箇所 | 1 路線 |
| (2)砂利数量 | 21 m ³ |
| 5 農道補修砂利敷等工事(追加実施分) | |
| (1)補修箇所 | 1 路線 |
| | 96,800 円 |
| 6 農道補修砂利敷等工事(災害復旧) | |
| (1)補修箇所 | 5 路線 |
| | 4,307,600 円 |

建設事業等の説明						(単位：円)
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
【農道補修事業】						
農道補修砂利敷工事 34路線 663m ³	2,974,400			1,923,000	1,051,400	高嶋コンクリート工業 R5.6.26～R5.7.18
【災害復旧事業 (農業用施設等)】						
農道補修砂利敷等工事 (災害復旧)	2,365,000			2,365,000		有限会社工藤建設 R5.9.25～R5.11.30
合計	5,339,400			4,288,000	1,051,400	